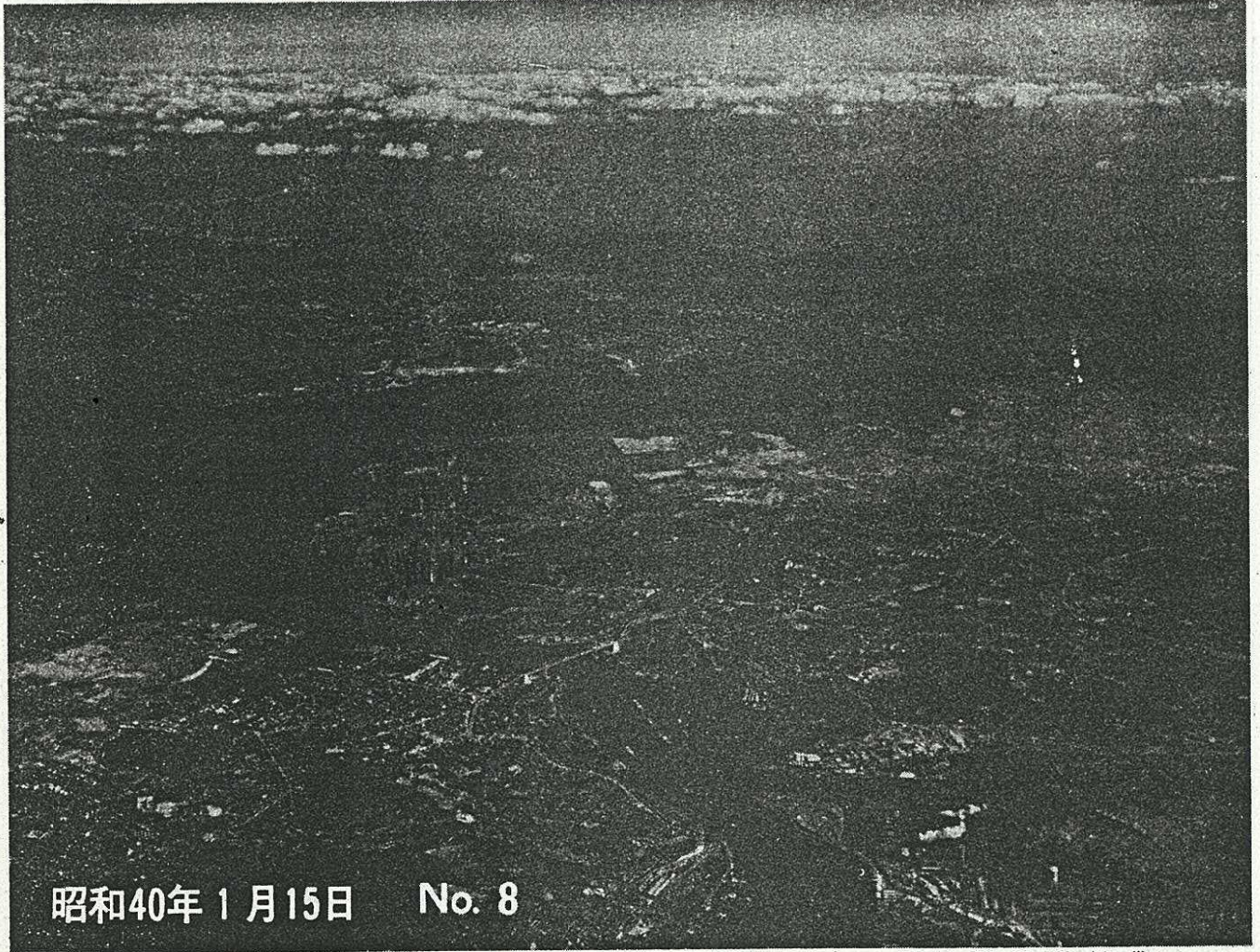


市議会だより

北九州市議会事務局



昭和40年1月15日 No. 8

躍動する北九州市

毎日新聞社提供

12月定例会

昭和三十九年十二月定例会市議会は、四日に開かれ、会期を一日延長して十九日に終了しました。

提出された議案は、三十八年度決算をはじめ、三十九年度補正予算（一般会計十四億三千九百五十万九千円、普通特別会計八億五千二百五十五万四千円をそれぞれ追加、企業会計二億九千九百七十八千円を減額）、条例の一部改正など四十七件であります。

これらの議案は、一部即決したものを除き、決算関係の議案は決算特別委員会を設置し、その他の議案は各常任委員会で、それぞれ慎重な審査を行なって、全議案を可決しました。

昭和四十年元旦

北九州市議会議長 河内圭一
副議長 田中 敏

明けまして
おめでとう
ございます

決算特別委員会 昭和三十八年度

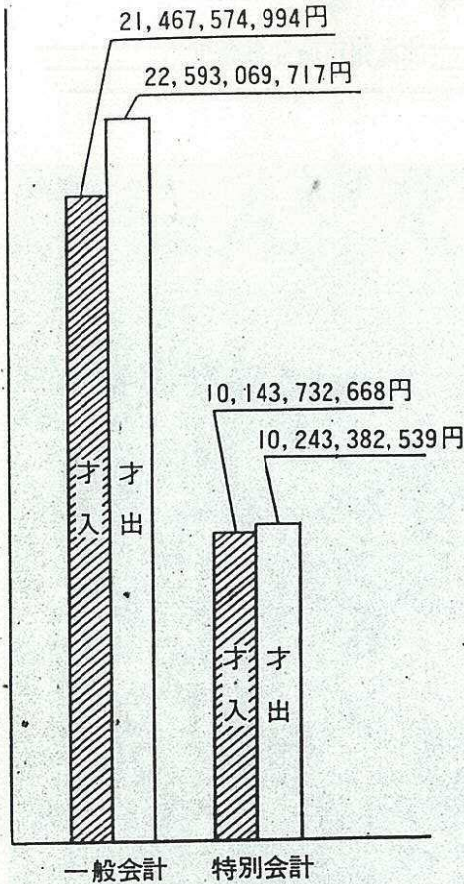
三十八年度決算を審査するため、十二月四日の本会議で設置された決算特別委員会は、三つの分科会にわかれ、詳細な審査を行ない原案通り認定しました。

昭和三十八年度の決算総額は、一般会計、歳入二百十四億六千七百五十七万五千円、歳出二百二十五億九千三百七十七万、差引不足金十一億二千五百四十九万五千円、特別会計、歳入百一億四千三百七十三万三千円、歳出百二億四千三百三十八万三千円、差引不足金九千九百六十五万五千円です。

この収支不足の原因としては、歳出の伸びに比べて歳入の伸びが伴わなかったことによるもので特に歳入において、全国的な傾向として市税収入の伸びが鈍化したことが影響しています。歳出面では、人件費、生活保護費、公債費

昭和38年度才入

才出決算のあらまし



二十二億五千四百九十二万円増加していますが、その中に三十八年四月一日政令指定都市となって新たに大規模償却資産税十四億四千五百九十九万円の収入もはいつています。

この大規模償却資産税を差引いて、三十七年度と比較してみると一〇・二パーセントの増加率となつています。

市税以外の収入のおもなものは地方譲与税、軽油引取税交付金、公営企業及び財産収入、国庫支出金、雑収入など百十二億三百七十五万八千円となつていて、三十七年度に比べて十二億九千万四千円増収となつています。

は七十一億円で全体の三二・六パーセントとなつています。決算審査の過程では、注意、要望など多数ありました。以下はその要旨です。

青少年の職業補導

八幡区の青少年職業補導所は、高等学校に進学出来なかった青少年に対して熔接、旋盤、自動車整備、理容美容などの職業的技術を教え、人間形成の指導を行ない、併せて、中学生の補習指導をも行なつていて、その就職率も高くなつていて、就職後も好評を得ることから社会的にも意義のある施設です。

最近、熔接、旋盤、自動車整備科など入所希望者が減少している傾向にあります。これはPRの不足から入所の資格が、八幡区内在住者に限られているかのような印象を与えているからと考えられます。各区の中学校長会に呼びかけなどして、生徒数の不足により遊休化することのないよう努力されるよう。

大里体育館の改築工事については、三十八年度予算に計上され、年度内完成を期待していたところ決算において全額繰越しとなつております。この件について当局より、工事の財源である起債の許可が遅れ、また寄附金の見込みがたなくなつたため三十九年度に繰越されたが、大体的設計も終り、近く着工する運びになつたとの説明がありました。しかし、本体育館は既に老朽化し、市民に多大の

改築工事を早急に

迷惑をかけているので、一日も早く工事を完成されるよう。

迷惑をかけているので、一日も早く工事を完成されるよう。

十分な公害対策を

都市衛生の中で公害対策は、市政の重要な問題であり、北九州市の都市形態からも公害対策は急務とされています。しかし市内各所には公害のために、周辺住民の生活に多大な影響を及ぼし、市行政の取り組み方に不平等と不満の声を多く聞く現況です。

今後市当局においては「ばい煙の排出の規制等に関する法律」の完全適用による、大気汚染の追放はもとより、公害全般について、実情に応じた基本的対策を講ずるべく関係方面に対して強力な行政指導を行なうよう。

若松区文化体育館は、竣工後わずか二年で早くも雨漏りが生じたため、施工者において、現在手なおしているとのことですが、政令都市として発足した本市において、今後この種の大きな建設事業がふえることが予測されますので、雨漏りの原因を徹底的に究明し、将来この種の不祥事を起さないよう、十分な指導監督をされるよう。

育英資金および奨学資金事業は青少年の教育に多大の効果を挙げているもので、それだけに規模の拡大、円滑な運営が望まれます。その円滑な運営がなされるためには、効果的な資金の回転が必要であり、貸付金の回収が重要な要素となるわけですが、貸付を受けた者の中に、返済に対し安易な考えの者がいる事が、回収率を低くしている最大の事由です。

奨学資金の回収を円滑に

したがって、その回収率の低い原因を十分に把握し、かつ貸付時における本事業の趣旨の徹底と返納義務履行の啓蒙をはかつて、今後本事業の拡大発展を計られるよう。

住宅建設は早めに

公営住宅建設の早期着工について、建築行政費において、二億五千五百八十余万円が不用額となつており、このうち事業繰越しによるものが、二億二千二百万円を占めています。

住宅工事の遅延する原因は、用地買収、工事着手などの遅延によるものです。住宅の早期建設は市民の切実な願いでもあり、早期着工に努力し、住宅難の解消に努めるよう。

工事や建設に 厳重な指導を

八幡区の図書館は、旧八幡市時代、将来の利用者の増加を予測し三階建の建物となるよう当初から設計され建設されたものであり、既に北九州市発足以前から利用者が急増し、増築の要望が出されていたのですが、最近特に激増したため、著しく狭隘となり多大の迷惑をかけていることは遺憾であり、早急に対策を講じ当初の計画である増築を速やかに行なうよう。

図書館 利用者へ便宜を

図書館

利用者へ便宜を

八幡区の図書館は、旧八幡市時代、将来の利用者の増加を予測し三階建の建物となるよう当初から設計され建設されたものであり、既に北九州市発足以前から利用者が急増し、増築の要望が出されていたのですが、最近特に激増したため、著しく狭隘となり多大の迷惑をかけていることは遺憾であり、早急に対策を講じ当初の計画である増築を速やかに行なうよう。

質疑

裏門司開発について

A議員 特別会計の裏門司臨海工業用地造成事業について、三十八年度には四億二千四百万円を支出して、この事業を継続し、すでに埋立てた土地を坪一万円で小野田セメント、出光興産に売却しておりますが、三十八年度中にこのほかの企業誘致についてどのような具体的計画と見通しを持っておられたか。裏門司、響灘等の工場用地造成事業は完成までに巨額な経費を必要とするが市民の福祉生活環境を犠牲にせずに、これを続けて行く方針と確信がありますか。

市長 裏門司を含み北九州の発展の将来図をえがくためには、港湾の整備とか、土地の造成とかが必要なお認めいただけると思います。問題はのりかたになります。土地を造って売却するということやかりかたは、現状では必然の方向でしょう。起債をやってあと償還の財源に充当するのには土地を造成しています。

北九州市の将来に明るい見通しを得るために、あるいは、港湾の整備や、土地の造成については、十分そのやり方について考えながらやっておるつもりです。

母子福祉資金の貸付について

B議員 母子福祉資金貸付事業

費ですが三十八年度から政令都市になって県から移譲されて市の仕事になったのですが、予算の約半額の五百二十万円が不用額となつて決算書に出ております。監査委員の審査意見書によれば事務引きつぎのために上半期は貸付をしなかったの五百二十万円あましたとなつていますが、そのためにわずか百七十六名の母子家庭にしか貸付ができておらないのですがどうして上半期に貸付ができなかったのですか。

民生局長 県の移譲を昨年四月一日に受けたわけですが、貸付をしてはいる回収金の問題が県と市で取扱いの話が解決しなかったわけです。四月から八月まで整理の完了をまら、児童福祉審議会の設置が人選その他でおくれて、九月下旬に設置をみ、十月から貸付の事務を始めてわずか半年間なので、五百二十万円の不用額を出しましたが、この不用額をそのまま減額することなく、大部分を翌年度に繰越して貸付事務を行なうという措置をとっています。

合併後 市政は進展したか

C議員 合併第一年の一般会計の特徴は教育費、保健衛生費、社会及び労働施設費等が合併前の三十七年度にくらべて、絶対額においても率においても減少しており、それを反して、産業基盤の拡充に関連の深い、土木費、都市計画事業費等は急激に膨張しておられます。

この決算から、市民に奉仕する市政、百万勤労市民のための市政が進展しているということがいわ

れるでしょうか、市長の所感はどうですか。

市長 北九州市は従来生産都市として発展してきました。その生活の環境の基盤、基礎である産業の条件について整備することは当然であろうと考えております。土木費のごときは、県道等や、一九九号線等が県から移譲されていますからふえております。いわば旧五市でやっておられた



熱心に会議を傍聴する人たち

項目、あるいは、やり方も違つております。合併の機会の特殊な事情もあります。それを単純に合計し比較することは必ずしも妥当な結論を得ないだろうと思います。

教育費、社会労働費、その他について、あるいは保健衛生や清掃関係等について力を入れてきました。これはご承知のところ。ですから実際にどういふ点に前進があったのか、あるいは、住民福祉の中で保育所の増設その他についてどういふ仕事施策がなされてきたかという点を論議いただきたいと存するのであります。

「職員の仕事規律の確保について、議会においても再三論議され、市長においてもそのつど、所信表明されたにもかかわらず、前進的措置がなされないうまま、期末手当支給に関係ない時間内職場大会が数回行なわれこれに出席した者に対し、賃金カットを行なわず、単に注意に止めたことは納得出来ない」との強い意見が出され、これに対して市長より、「今後は、市民に奉仕する公務員としての職務専念の義務に違反した者に対し、それその事態に応じた賃金カット等厳正な措置をとります。なお、人事管理態勢を強化するため新議会成立後すみやかに、助役を増員して、新たに管理機構の整備をはかりたいと考えております」との所信表明があり市広報での市民に対する所信表明について議会の要望にそつて善処したい旨の確約がありました。

常任委員会の審査から

調査施行の指導、調査等に周知徹底しないといううらみがあり努力されるよう要望しました。また、老人クラブ補助金についても、国の施策として、一クラブにつき月千五百円以内で補助するようになっていますが、本市は、クラブ構成等の基準にそつて、最高額月千三百六十円が補助され、自主的に運営されていますが、かならずしも育成については十分でない面もあるように思われますので、これら一連の老人福祉対策については市費を投じてでも積極的に行きむべきであるとの強い意見

に対し、

五十人以上のクラブについて、一率月千五百円を目標に努力したい、なお、国に対しては強力に国庫補助の増額を要請するとともにいまだに受診を完了しない老人に対して新年度には受診を徹底したいとの意向が表明されました。

「区画整理事業は、地元関係者の納得のもとに事業が施行されなければ、その意義をうしなうものですが、本事業には地元の不平、不満が絶えません。現在国においても、勤労者財産形成の政策を打ち出すなどの動きがあり、今後各地区において、区

画整理事業が施行されるものと予想されるので、市民の不平不満を解消するため、市当局は、十二分の配慮を払われるよう。また、現在北九州における住宅不足戸数は、約三万五千戸といわれ、本市においても、解消を目ざして、公営、建売等各種住宅の建設を進めており、またこれらの用地確保には、開発公社の設立をみるなど、活動が期待されております。しかしながら、市街地中心部には、多数の木造市営住宅がみられますので、これを高層化して、土地利用の高度化をはかることが、住宅難、用地難の緩和はもとより、防災と都市美観を増進するものと考えられるので、早急に既成木造市営住宅の高層化をはかるよう、要望しました。

「教育費の補正について」今回相当額の減額がされておられ、やむをえないものもありますが、単なる経費節減のために教育行政の停滞、父兄負担をまわくような減額はつしむべきです。来年度予算の編成にあたっては以上のこと留意され万全を期せられるよう」「小・中学校の水道料の予算が少ないため、不自由している学校もあり、水道局が設置されている現在、むしろ小・中学校で使用する水道料は免除するようにし、必要な水は十分使えるようにしてほしい」「戸畑工業高校は開校以来志願者が多いため競争率は他校よりはるかに高く、来年は今年度以上の志願者が予想されるので、改築工事に合せて、更に二学級増設し、入学難の緩和をはかるべく」要望しました。



十二月十一日、十二日の二日間、市政一般について質問が行なわれました。以下はその要旨です。

大学 拡充の 見通しは

D議員 北九州大学の経営学科開設案に対する文部省の意見はどうですか。それに対する見通しと市の対策はどうなっていますか。また校舎改築四カ年計画の初年度分として四千万円を計上してありますが、本年度も残り少なくなりましたのに、未だ着工に至っておりませんがどういう理由で着工しないのですか。

大学事務局長 学科の増設については、九月に認可の申請をし十一月三十日に文部省の調査が終了十二月末に認可の内示があると思えます。しかし正式な認可は一月二十日頃の予定です。また学生の急増対策に関連し校舎増築は、三カ年計画ということで十二月十六日に地鎮祭を行ない着工する計画です。

労務管理について

E議員 去る十一月二十五日から三十日までには休戦争のため全職員の一割近い人々が毎日休み、所属長は事務に支障がないとの理由で休戦を認めたということですが間違いありませんか。次いで先

日は、八十名の人が職場大会によって一時間の職場放棄をしたが、これは服務規程の違反であると認めながらも、何故、今回は賃金カットを見送ったのですか。

市長 年休を斗争戦術として、業務に支障があるかどうかは、それぞれの管理者が認めて許可しております。賃金カットの問題については、その前提になる服務違反に対する勧告や命令が必要でありそののちにおこった事態についての問題だと思えます。要は服務規律の確立だと考えます。今後とも一万数千の職員を通して市民のサービスと規律の確立に最善を尽くしたいと思えます。

給水に万全を

F議員 市の発展につれて住宅地域が高地に伸びておりますが、これに対する水の供給についてはどのように計画しておられますか。五十数億も費した八木山ダムで十分まかなえるのですか。

水道局長 最近高地区に住宅がふえていますので、現在の配水池では十分な給水ができません。八木山の工事に関連して、現在の配水池より高い位置に築造してあるものもあり、また計画中のものもあります。たとえば、小倉地区は足立山麓に七十米の配水池を若松では、高塔山の六十五米附近

に計画しております。順次、実情に即し、今後パイプの敷設、配水池の増設を考慮し計画を進めたいと思えます。

もつと下水道の 普及を

G議員 下水道の普及率は、全国平均一九割であるのに本市の場合八割のありまです。なお、年々の下水道事業費をみても積極的な意欲、計画がないように感じますが、この点いかがですか。

市長 近代的な都市とするため清掃業務改善の五ヶ年計画を立てておりますが、タッチ・ゾーンの問題や各区において従来からのやり方が違っておりまして困難を極めております。しかし、大綱はすでに決っておりますので、速やかに五ヶ年計画を推進するよう努力しております。

市民球場について

H議員 先般市長の尽力によりナイター設備等球場の整備がなされることは結構です。しかし、プロ野球に使用するためアマチュアの球場使用に及ぼす制約や見返り等はどのようなのですか。

建設局長 今まで六試合のプロ野球が三十試合にふえるので、アマチュアの使用回数が減って参ります。そのかわり市民は従前より立派なグラウンドでプレーできますし、できるだけ都市公園の性格をおとさず公共性をもつようにしたいと思えます。なお、ベビー球場、陸上競技場、籠球コートも利用できるよう努力したいと考えてお

義務教育施設 について

I議員 門司区における義務教育施設についてですが、小学校教育施設は歴史が長く、市街地と郊外農村地区に差異を生じており、教育の機会均等をはかる施策を行なうていただきたいと思えますがどのようにお考えですか。

教育長 教育委員会としても、市街地、郊外地区の別なく、緊急の都合を考慮して努力しております。方針としては、不正常授業におちいらないように特に普通教室が不足にならないように努力します。次に老朽校舎の増改築、木造校舎の鉄筋化等について今後検討していきたいと思っております。

万全な消防態勢を

J議員 現在各消防署とも、署員の不足を訴えており、いかに優秀な機械を配置しても緊急の場合には人手不足から用をなさないおそれがあります。適正な人事配置や不足している署員の充足はいつ実施されるのですか。

消防局長 できるだけ事務に携わっている職員を事務の能率化、機械化によって、一人でも警備の活動要員に持っていくという努力をしております。当局としては、神戸市を一つの目標にしながら年次的に、一歩でも近づくように努力して行き、一日も早く各区の格差を是正することが一番大切な問題だと考えております。

西部地区の開発 について

K議員 折尾地区の開発も目を追うことに著しく、個々に住宅が建設されていますが、放置すればますます雑然たる住宅街が造成されて行くのですが、北九州の西の玄関、折尾地域に対する総合的開発、並びに民間区画整理事業の援助、および折尾町土地改良などについて、どのような方針をおもちですか。

市長 マスタープランの中において、この折尾あるいは本城地域の都市計画、都市改造計画は着手して行かなければならぬことであり東大八十島教授等に調査をお願いしているところです。この調査をまち計画を立て、地元の協力を得て、都市計画を強力に進めて行き、民間区画整理の動向についても、都市改造、市の区画整理の協力者としてお願をし、市としても援助したいと考えておるところです。

第二松寿園の 整備は十分に

L議員 第二松寿園の医療器械は、八年前開園当時の旧態然たるものですが、法では七年以上の使用を禁止されているということであり、もし古い器械のために患者に放射線障害が起つたらどうするつもりですか。また長期療養する病院の庭に雑草が茂っているのは環境衛生上困った問題だと思えますがこの点についてもいかがお考えですか。

衛生局長 医療器械はすでに八年を経過しており、一度耐用年数

が切れる時期でございますので、四十年で整備する予定です。現在の器械においても患者が放射能による障害はありません。なお、清掃の不十分な点は遺憾です。今後はそういった環境の整備にも努力いたします。

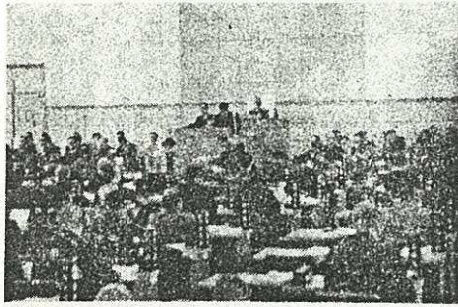
戸畑病院改築後の 対策は

M議員 老朽化した戸畑病院の改築も来年十二月には、いよいよ完成する見込みですが、いかに近代建築の立派な病院でも十分な人材なしには一〇〇割の運営はできません。現在では厚生省の基準とはかけ離れておりこのままでは新設の三百三十四床中約七十床ぐらいは使用不能になるのではないか危惧されていますが、この点についての対策は如何ですか。

衛生局長 改築されますと三百三十四床の病院になるわけですが現在の病床数では充足しております。しかし、工事完成の暁には基準看護（入院では四ベットの一人の看護婦、外来では三十人に一人の看護婦）を実施するよう看護婦その他の職員の配置を準備いたしております。

ナイキ問題について

N議員 防衛庁は第二次防衛五カ年計画の一環として、北九州に対空ミサイルナイキ大隊を配置することを発表しました。このような危険な核基地のまつた中に北九州市民が置かれることは、市民の生命財産を守ることを第一のつとめにしなければならぬ市長が



反対運動の先頭に立つてナイキ大隊を持ち込まないようにはしなければならぬと信じていますが、市長の決意をお伺いします。

市長 市民の生命、安全、財産を守るについては、その方法は憲法が予定している平和的な方法でなければならぬと考えています。ナイキ等についてはいろいろ問題もあります。私個人としては好ましいことではないと考えていますが、住民の意思によって行動しなければなりませんし、議会の意向も考えながら私の行動を進めたいと考えています。

水資源開発にもっと積極性を

○議員 水資源の問題についてですが、市当局から、いかにも筑後川の水が北九州にも、簡単に利用できるような感じで委員会に再々報告されていますが、この水をめぐって各地から、争奪戦が開始されているのに、北九州市は、一回の陳情で何ら積極的な手を打たなくてもよいのですか。また、田

川郡の油木ダムですが、これはまだ計画中で、利用する時が来るのは、早くても四十五年以降です。それで期待できるのは、首根の河口湖ですが、これに対して市当局は積極的に実現しようと努力しているのですか。

市長 この夏に強力な運動を展開し、筑後川水系指定を受けられたところですが、あとは、基本計画をたてなければなりません。市としては、この前に、紫川の調査再開を考へ、また遠賀川についても検討しているところです。あるいは、県が水道組合解散の時に今後水資源開発に協力するという約束をいただきましたから、首根の河口湖の問題、今川、祓川の問題についても調査と立案とダムの建設をいそいでいただいているところですが、筑後川については、市としては、地元に対して、国、県の裏付けをもって協力をお願いする立場にありますから、そういう姿勢で参っております。施策については今後も協力を得て最善をつくして参りたいと思っております。

給与勧告について

P議員 人事委員会の給与の勧告について、具体的な金額を示さず、一部中だるみ等を是正するという内容のように理解しているのですが、実質的に零勧告であると判断した上でこのような報告を出されたのですか。また、昨年の勧告では民間給与よりも低いということ、五・八割上げました。今年度の勧告では本市職員のほうが三千円高いということ、零勧告で

す。どうしてこういう形があらわれてきたのですか。
市長は、給与の改定にあたってどういう形において、これを実施しようとするのですか。

人事委員会委員 具体的な金額は示しておりませんが、生計費の上昇、民間の賃金の推移、また、給与制度の内部の問題をやらんでいかなければならぬ、現在の給与水準の引上げ、給料表の改定の必要を認めているということ、本質的には昨年と同じ形、内容では、今年も同じ形、内容で給与水準の状態などをつかむべきだということから、昨年も六種類の角度から比較を行なっております。

今年もA、Bという二つの比較をしております。民間給与との格差がどうであるかということも当然要素として考へますが、同時に国や、他の地方公共団体との比較はどうか、また、物価生計費などいろいろの要素をもって判断しているつもりです。

市長 給料表の改定、給与の改定をはかる必要があると認めるといふ回答であり、報告です。人事委員会で取り上げられた、物価、生計費の問題、あるいは、民間給与等との比較において総合的に判断しなければならぬと思っております。いま改訂について検討中です。

災害対策について

Q議員 災害発生が予想される事態に至って、始めて設けられる災害対策本部を、常設の機関として常時指導、監督等にあらわれるよ

うにすることを主張するものでしょうか。
また当局の調査によれば一二〇件のほる危険箇所が示されており、当然危険が予想されている地域への建築その他に対する規制ができないのですか。

総務局長 災害対策基本法の関係で、常設するというのは問題があるように思っています。災害が発生し、予想される場合に設けるようになっていまして、そのようにとりはからいます。

建設局長 最近、非常に危険な宅地造成がふえておりますが、災害のおこらないように十分行政指導をおこなっております。できれば予算並びに機構等も考へあわせまして、逐次年度を追い宅地造成規制法を適用してこれを規制して万全を期したいという心がまえで準備中です。

環境衛生について

R議員 清掃用ポリ容器の使用について、一、二の区では補助金を計上して、清掃事業に力を入れています。それほど大きな予算を要することでもなく、各区一斉に補助金を計上して強力的に推進するくらいの指導はなされないのですか。

市長 タッチェゾンのある現状では、やむを得ない現実かと思っておりますが、ポリ容器を使つての清掃事業関係の改善は、全般的な傾向でもありますし、できるだけ同じ方針でいきたいと思つております。このために各区の行財政水準を漸次統一していきたい。その点についてはタッチェゾンの関係もあ

りますが、具体的な個々の施策を通じての短縮ができるようにご協力をお願いしたいところであります。

小倉警察署庁舎建設について

S議員 九月の福岡県議会において、県補正予算歳入の部では小倉警察署庁舎建設費として、北九州市より一億円の寄付金が計上され可決されましたが、その一億円は、小倉警察署の小倉城内移築のための建築費にあてるもので、財源は、いまの小倉署の敷地千四百五坪の市有地を売却しこれにあてるといわれていますが、それは事実ですか。北九州市議会においてなら審議されないまま県財政の歳入に組みこまれていくということはどういうことですか。地方財政法に、国は地方公共団体または地方公共団体または住民に対し直接であると同接であると間接であると間接的徴収してはならないとありますが、違反行為ではないのですか。

財政局長 県と市との間には、やはり相互協力関係が必要であり、ことにこの問題は旧市時代からのいきさつもありましたので、この際は寄付金を出すが適当であるろうと考へたわけでありました。時目的に本市の九月定例会に予算を提出することが出来ませんでしたので、旧市からの問題でもあり急遽小倉区政協議会と、総務財政委員会におはかりをしまして、市の方では次期に予算措置を講ずるので、県の方では予算化して下さいと申したわけでありました。

鉱害について

T議員 日炭高松より通産局に提出されております施策案について、事前に市に相談があったかどうか、また同施策案が再認可となった場合の対策はいかがですか。
市長 この問題については、国の責任においてなされるべきものですが、本市としても住民の権利を守るため反対運動を展開しております。地元の声を反映し、国会における鉱業法の審議も北九州における具体的問題を解決しなければ同法の改正をしないとご協力も得ております。

なお、鉱害等の復旧についてはその責任を明らかにしてもらい、国のご協力も願ひ、今後、最善の努力をいたします。

PTA会費について

U議員 四十年年度予算編成の時にあたり、PTAに負担させている学校経費を公費で負担するためどれほどの教育費の増額を見込んでいますか。また、講堂、校舎、プール等その本工事は予算計上されるが、付帯工事費、備品等の購入は、校区民やPTAの寄附によってまかなわれている実情を多く見聞しますが、公立学校の寄付行為は禁じられています。この事実をどのように考へていますか。また学童に冷水を清掃に使用させています。給食施設を活用して無用の耐乏をしないことのないようなどが望ましいと思つております。

教育長 当初予算である程度の父兄負担軽減の事を組みまして、その影響で、PTAの会費を減額した所もあり昨年どおりという学校が大部分で、そういう点では会費の増額を抑制することに役立ってきたと思っております。なおいろいろの参考書類なんかを子供に買ってきたというところから、費用が増しておるといことは、新聞その他で報道されているとおりですが、その点は、学校を通して良い参考書を選ぶよう指導したいと思っております。また寄附の件で、ご指摘のような点もあらうと思いますが、公の費用の中で、年次を重ねて備品などを備えるように、指導を徹底するように申し伝えておられます。最後に学童の掃除については、そういうことのないように、特に一年生などについては、上級生で代ってやるか、十分検討したいと考えております。

水道行政について

V議員 門司区の水道夜間断水について、応急措置として、小倉区からの水は現在どのくらい送られるようになってきているのですか。また、緊急送水はどのように措置されるのですか。さらに夜間断水をする時、パイプの中にはいった空気の圧力でメーターが上りまこと、料金の減額措置というようないことが考えられているのですか。また、将来の問題として、水道行政として市内水道の一本化をいつやろうとしているのですか。水道料金の一本化も伴うのですが、料金統一についてどのように考えているのですか。

水道局長 現在小倉から、延

マスタープラン特別委員会

委員会において、合併の基本理念とされていた「多核都市」の方向づけが具体性を欠いているなどの意見が出され、これに対する調査会の考え方は、マスタープランの究極の目的が理想像をえがくものであっても、そこには現実と全く遊離したものでなく北九州の現状をみつめながら、夢と現実のかけ橋となるものを求めたもので、多核都市論については都市機能を強化し、発展させることを目的として行なったものである。

委員からの要望として、市財政力の強化を基本として「マスタープランへの市民参加」「都市改造への早期着手」「住宅難と地価高騰の解消」「住民福祉と生活環境の整備」など各般について建設的な意見を述べ調査会に要望した。

庁舎建設特別委員会

市当局より提案された庁舎敷地については、A案は「条例で示された地域内の北側」、B案は「条例で示された地域内のほぼ中央付近」、C案は「A案およびB案の位置のほぼ中間」で、C案が最も適当と思う、との説明がありました。

委員会では種々協議の結果、A、B、Cの三案については、現地を視察した上で審査すること、合併促進協議会A委員会における庁舎建設についての会議録を調べる機会、早い機会に本特別委員会の対照

交渉委員により、用地の取得につき、県と折衝を行なうこと、などの点について決定をみました。

水資源開発特別委員会

目下経済企画庁において、筑後川開発基本計画を作成するため関係行政機関と協議が進められており、本年度中にも成案を得る模様です。これによつて事業実施方針を定めて、水資源公団に指示し公団はこれにもとづいて、四十年

中には事業実施計画が作成され業務開始の運びになるとの説明があり、さらに本市における今後の在り方については、マスタープラン

特別委員会
の中間報告

作成とあわせ関係官庁と十分連携をとりたい旨の報告がなされました。

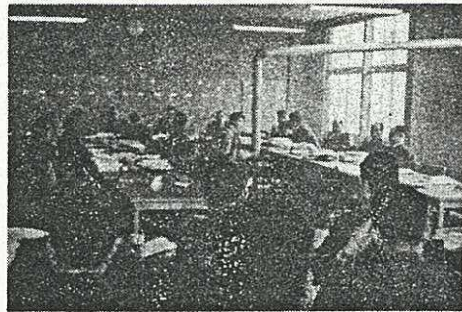
筑後川の水資源を確保するには強力な運動が必要であり、当局は積極的に議会とタイアップしていくべきであるとの強い要望がなされました。

開発公社等設立準備特別委員会

公社方式と、事業団制度のいずれを採用するかについて検討を加え、諸般の事情を勘案し、開発公社を新設するとの基本方針を決定しました。

この方針にもとづき、本市開発公社の具体的内容の検討を進め、開発公社を早急に設立して新都市建設を進めなければならぬ本市の事情からして、とりあえず、市の行なう都市計画事業、その他開発事業に必要な、公共用地の先行取得を主な事業内容とした開発公社を設立することにしました。

その後、開発公社設立に關し、県知事宛許可申請をし、十一月二十日付をもって設立の許可があり、十二月八日に、登記申請の



重なる検討を重ね、鉅害の復旧、損害賠償等の問題については、あくまで国家賠償の方向にもつていくよう鉅業法の改正をはかり、種住永大丸等の問題については関係法律の改正を通じて、その解決をはかるべきことに、意見の一致をみるにいたりしました。

九州縦貫高速自動車道路建設促進特別委員会

④下請代金適正法の制定
なお、市当局に対する要望は次のとおりです。
①北九州市中小企業安定審議会の早急な設置、②業種別組合および下請別組合の早期結成の促進、③下請代金支払遅延等防止法の改正、④協同事業促進法、下請代金適正法、中小企業安定審議会法の制定を政府に対し強力に要請すること、⑤来年度予算に企業調査診断に要する経費を大巾に増額すること。

鉅業法改正問題特別委員会

九州縦貫高速自動車道路の着工が決定し、建設省において各種の最終予備調査を完了し、四十年建設開始という方向で事務が推進されるに至っております。本委員会は、早期着工のため、今後建設費をいかに多く獲得するか、着工順位をいかにするか、完成をいかに早めるかなどの問題解決のため努力することになりました。

中小企業対策特別委員会

中小企業の安定を図り、倒産を未然に防止するためには、企業の診断を常時実施し、企業の組織、税制、労務等に対する恒久措置、あるいはその諮問に応じる中小企業安定審議会というものを国、県および市に設置することが必要であるとの観点から、次の点について、陳情書を関係機関に提出して

産炭地振興対策特別委員会

若松区種住および八幡区永大丸の住宅団地については、鉅害の発生が予想されるため、市営住宅の建設計画等に支障をきたし、産炭地の振興と地区住民の福祉の向上に支障をきたしています。委員会は現地調査を行なうとともに、慎重

- ①中小企業安定審議会法の制定
- ②中小企業協同事業促進法の制定
- ③下請代金支払遅延等防止法の改正

その結果、国においては、以上の点については、具体的な解決はかりたいということであり、最終的には、前国会に続き、現在なお継続審議中です。

命寺のトンネルを通り約二千、それから富野地区から約千、大谷から約千、桜橋付近から約一万一千、合せて一万五千ほど補給するよう準備しています。緊急用のタンクは三ノ入りを二個ほど門司区に用意しており、水道局としては、約二十個、小型タンクも配置しています。また職員を夜間配置させて、火災が発生するとパイプを開くようにしています。次に空気回転して使用料が上がった場合については、実態を調査して、需用者側の納得いく話し合いの上で料金を徴収する予定です。将来の一本化については、大体八木山の工事が四十年で完成しま



故工藤議員



故上田議員

すが、それに伴ない、足立の配水池が来年の夏時分に出来上ります。これと門司の系統とを結びつける配管を来年度中には、やる予定です。そうすれば、旧水道企業庁できめた料金で、この方の水が門司区の方にまいますので、必然的に四区の料金に合わせたいたなければならぬと思いが、料金の統一問題については、その時期にあらためて、ご相談申し上げます。

敬老年金受給制度の再検討を

W議員 敬老年金として八十五

才以上の人に對し現在、戸畑区のみを受給制度が実施されていますが、この制度をできれば、全区に広げ年令も七十五才まで引下げてはどうかと思いますが、これに對する見解をお伺いします。

市長 旧戸畑市より引き継いで現在戸畑区のみ敬老年金制度を設けておりますが、考え方として老人クラブとか老人に對する国の施策として行き届かない点について市が身近かな世話をするというのが本筋だと思えます。意志を十分尊重して今後努力していきたいと思えます。

十二月一日、小倉区出身の上田鮎之助議員が逝去されました。十一日の本会議の冒頭全議員を代表して、大原議員がごきょうの追悼の辞を贈りました。

「昭和二十二年小倉市議會議員に當選以來、厚生常任委員、または委員長として、更に、中小企業対策特別委員、合併後は衛生水道常任委員、産炭地振興対策特別委員

として、住民福祉を基調とした産業基盤の強化と中小企業の育成のために努力を続けられ、あなたに期待するところ大なるものがあるとき、不帰の客となられたことは本市議會議員にとってもまことに痛恨の極みであります。」

なお、十二月一日付をもって、從六位、勲五等に叙せられ、瑞宝章を受章されました。

上田 鮎之助 (小倉区) 工藤 保一 (門司区) 両議員逝去

十二月六日、門司区出身の工藤保一議員が逝去されました。十一日の本会議の冒頭全議員を代表して、天野志津雄議員がごきょうの追悼の辞を贈りました。

「昭和二十六年門司市議會議員に當選以來、経済常任委員長をはじめ、各種の委員を歴任され、さらには合併後は、経済交通常任委員、中小企業対策特別委員の要職にあ

って、住民福祉の増進と、産業発展のため、たゆまない努力を続けられ、あなたの今後の活躍が望まれていたさなかに、突然不帰の客となられたことは、本市議會議員として、誠に惜しむてもあまりあるものがあります。」

なお、十二月六日付をもって、勲六等に叙せられ、単光旭日章を受章されました。

請願・陳情の..... あしらせ

皆さんから提出された請願・陳情は現地をみたくて審査しています。

請願 採択されたもの

- 戸畑区市立幼稚園教育助成金の交付について (八幡区花尾町)
- 自動車駐車及び方向転回場設置について (八幡区花尾町)
- 信号機設置について (八幡区尾倉町)
- 国立工専の建設に伴い若園町と北方間を結ぶ直線道路の開設について
- 日田線第四号踏切に信号機付自動遮断器の設置について
- 交通安全施策について (小倉区徳力)
- 射撃場全域の他地域への移転について (小倉区徳力)
- 信号機設置促進について (小倉区金田)
- 駐車場の新設援助について (八幡区祇園町)
- 泉台小学校講堂兼体育館建設について
- 道路及び市有地整備について (八幡区日ノ出町)
- 小倉区消防署出張所の新設について (小倉区長行)
- 道路の舗装について (八幡区前田町)
- 道路の貫通促進について (八幡区大字引野)
- 道路舗装について (小倉区北方)
- 下水管の敷設および下水溝の上蓋取付について (八幡区祇園町)
- 水道管の新設および老朽配水管の取替について (八幡区祇園町)
- 門司歯科医師会会館の建設費補助について
- 道路の新設について (門司区花月園)
- 道路舗装について (門司区庄司校区)

- 道路舗装および側溝整備について (八幡区祇園町)
- 道路舗装について (小倉区松宮町)
- 道路の舗装について (門司区庄司校区)
- (門司区真光寺谷町)
- (門司区常盤町)
- (門司区大里黄金町)
- 校舎増築ならびにプール、講堂、外柵の建設について (八幡区永大丸東町)
- 市立江川小学校校舎増築について (若松区乙丸)
- 道路舗装および下水道整備について (小倉区青葉町)
- 排水溝整備について (小倉区西本町二)
- 大森公園整備促進について (門司区後楽町)
- 中小下請企業に対する下請単価代金支払等の改善について
- 小倉区徳力校区の総合計画および土地整理組合設立の援助方について
- 曾根ノ根田線(北方より蒲生入口間)の道路舗装並びに整備促進について
- 徳吉、頂吉、呼野線道路舗装について
- 幼稚園建設について (八幡区穴生)
- 市立思永中学校体育館兼講堂新築について
- 在外私有財産補償促進について
- 笹尾川右岸堤防の市道認定について (八幡区香月町楠橋)
- 折尾第一区画整理組合(仮称)に対する技術援助について (八幡区折尾)
- 通学道路舗装並びに排水について (小倉区水道町)
- 言語治療教室開設について
- 道路の補修並びに安全柵の造設について (八幡区園田町)
- 乳児保育所並びに保育所の増設について (門司区谷町)
- 衛生行政の確立について (門司区)

緊急就労の枠の拡大並びに時限立法の延長について
就職促進について

小倉区曾根字津田地区工業地帯の飲料水について

中小零細業者への融資制度の拡充強化について

ナイキ配備反対について

交通安全施策について(八幡区園田町)

道路整備について(門司区田の浦)

不採択になったもの

道路巾縮小反対について(戸畑区)

(理由)趣旨にそいがない。

元警察職員恩給復権について

(理由)願意は考慮出来る面もあるが、現時点で市条例の制定の段階に至っていない。

道路舗装について(小倉区北山越町)

(理由)ただちに実施困難

住友鉱業鉄道敷地買収方について(八幡区香月町)

(理由)財政上、都市計画上、困難

水道料金の上上げ反対について

(理由)門司区の水道料金は是正があるから。

国産生ワクの安全性の確立並びに投与後の健康管理について

(理由)同趣旨の請願が不採択となっているため。



藍綬褒章を受章
されました

竹内吉十郎議員(戸畑区)は、昭和三十九

年十月二十一日藍綬褒章を受章されました。

竹内議員は、市議会議員として昭和三年以来在職二十六年、公共の福祉に奉仕して地方自治の発展に貢献した功勞によるものです。

被爆者に対する医療補助について

(理由)厚生年金病院の診断において直接被爆となっていないため。

義務教育の父兄負担全廃について

(理由)国の方針もあるので、市としては願意にそいがない。

生活保護基準の引上げ並びに保護世帯子弟の進学について

(理由)現時点では困難である。

保健婦、助産婦、看護婦法改悪反対並びに医療制度の確立について

(理由)国において具体的なものがでていないため。

成人祭記念アルパムの該当者全員贈呈について

(理由)参加する人に贈呈する。特別の理由があれば参加しない人にも贈呈する。

緊急不況対策について

(理由)国において措置すべきものである。

陳情 採択されたもの

藤の木少年輔導ルーム運営費の補助について

水道敷設について(若松区大字浅川)

水道敷設について(浅川小学校)

門司区私立幼稚園教員研修費助成について

屋内体育館兼講堂建築について(市立港中学校)

小倉区内在住の木炭生産者の生活権の確保について

騒音防止対策について(小倉区三郎丸)

磁石式電話の自動化について(門司区大字恒見)

側溝新設について(小倉区白萩町)

道路舗装ならびに補修について(八幡区本町)

市立中島幼稚園園舎新築について

市道認定について(八幡区黒崎)

撥川川岸道路の肩直しについて(〃〃)

道路の整備について(〃〃)

水道管敷設について(小倉区原町)

道路の舗装について(小倉区大字道原)

通学道路の舗装について(中島小学校周辺)

水道管敷設について(八幡区穴生)

排水管の取換えについて(小倉区重住町)

体育館兼講堂の建設について(門司区大里御所町)

中島小学校校舎改築について

若松区類似公民館の運営助成金の増額について

道路舗装について(八幡区帆柱町二丁目)

門司区類似公民館の補助金増額について

小倉養護学校のスクールバス運行について

赤岩町幼児児童施設建設について(若松区藤の木)

道路舗装について(門司区港町)

祝町小学校講堂建設について(八幡区)

裏門司総合開発事業の早期完成について

道路補修ならびに橋梁改修について(小倉区蒲生)

市立愛国保育所の改築について

老人検診ならびに老人クラブ助成金について

排水溝の改良について(小倉区大島)

道路舗装について(小倉区金田町中通り)

(小倉区下津二丁目)

市立小森江西小学校校舎改築について

河川の整備について(小倉区上貫)

小倉歯科医師会館建設の援助方について

道路舗装について(小倉区大谷通り)

側溝築造方について(〃〃)

騒音防止について(小倉区上津都町)

西鉄バス黒原線の湯川までの延長について

不採択になったもの

青少年赤十字加盟協力方について

(理由) 学校単位の加盟が原則であるため。

黒崎中橋川下水道築造地面使用について

(理由) 駐車場には不適当。

道路の拡巾について(小倉区大字貫)

(理由) 今すぐには実施することは困難。

市道舗装工事に伴う被害補償について(八幡区松坂町)

(理由) 被害補償はしない。

道路舗装について(小倉区下津四丁目)

(理由) ただちに実施することは困難。

道路舗装について(小倉区上津本町三丁目)

(理由) ただちに実施することは困難。

道路舗装について(小倉区産川町一丁目)

(理由) ただちに実施することは困難。

道路舗装について(小倉区到津新町)

(理由) ただちに実施することは困難。

道路舗装について(小倉区上津本町一丁目)

(理由) ただちに実施することは困難。

道路の拡巾について(八幡区本城西字浜)

(理由) ただちに実施することは困難。

役員紹介

十二月定例市議会できまった役員はつぎのとおりです。

○北九州市固定資産評価審査委員会委員

中山 修 (財政局次長)

○堀川水利組合議会議員

下北 一夫 (市議會議員)

夜部 隆平 (八幡区)

広田 正直 (八幡区)

和田 晴夫 (八幡区)